

うわぬま 元気プロジェクト！

上沼地区まちづくり事業 実施計画書

平成31年度～平成35年度



平成31年3月

発行 上沼コミュニティ運営協議会

作成 うわぬま元気プロジェクト委員会

事業支援 登米市企画部市民協働課・中田総合支所市民課

うわぬま 元気プロジェクト！

上沼地区まちづくり事業 実施計画書

目次

1. はじめに

上沼コミュニティ運営協議会 会長

2. 事業計画策定に取り組んで

うわぬま元気プロジェクト委員会 委員長

3. 事業の概要

- ① 計画づくりに取り組む背景
- ② 計画づくり策定の目的
- ③ 計画策定の方針と期待する効果
- ④ まちづくり計画策定体制

4. 行動計画の内容

- ① 趣旨
- ② 行動計画の内容

5. 今後の取り組み

6. 資料編

- ① 上沼地区まちづくり事業 行動計画一覧表
- ② 上沼地域カルテ
- ③ 基礎資料

1. はじめに

上沼コミュニティ運営協議会 会長 浅野盛志

上沼コミュニティ運営協議会による上沼地区まちづくり事業は、平成25年度に最初の5ヶ年計画づくりでスタートし、26年度から5年間は実行期間としました。

委員の皆さんの熱意と頑張り、住民のご理解とご協力により、「年度計画 — 実行 — 反省・改善」を積み重ね5年が経過しました。

この度、5年間の活動成果をまとめ実施報告書を作成し、住民各位にお知らせすることにしました。合わせて、平成31年度以降の新5ヶ年計画を策定しましたのでご覧ください。このことについて、貴重なご意見等いただければありがたく思います。

これからも、新たな気持ちで『上沼を元気にするまちづくり事業』を継続して取り組みますので、よろしくご協力お願いいたします。

終わりに、事業支援いただいた登米市企画部市民協働課、中田総合支所市民課、及びご協力いただいた多くの方々に感謝いたします。

2. 事業計画策定に取り組んで

うわぬま元気プロジェクト委員会 委員長 三浦家壽治

うわぬま元気プロジェクト！（上沼地区まちづくり）が平成26年から始まり、計画の5年が過ぎようとしています。

取り組み内容を4つのグループに分け、班長を中心に昼夜を問わず話し合い、地域の皆さんにも参加していただきながら実行してきました。

来年度（平成31年度4月）より新5ヶ年計画がスタートしますので、最終年度の1月より3月まで策定委員会を3回開き、次回の項目の検討を行い、今回の行動計画が出来上がりました。今後も、地域の皆様と共に夢と希望の持てる上沼地区をつくっていきましょう。

最後になりましたが、うわぬま元気プロジェクト！にご協力・ご支援いただきました、登米市企画部市民協働課、上沼小学校、上沼地区の多くの方々に御礼申し上げます。

3. 事業の概要

①計画づくりに取り組む背景

登米市は市制施行（平成17年）して以来、平成18年に策定された「登米市総合計画」において「市民との協働による持続的な発展」を目指して「市民参画型のまちづくり」を理念として各種施策が実行されてきた。

平成24年4月1日には協働のまちづくり基本条例が施行され、市民の参加補償、自主性確保などを基本理念として、具体的な推進策である《人づくり、条例づくり、拠点づくり、計画づくり》の「協働4づくり事業」が進められている。

当上沼地区では平成15年の地方自治法改正を機に、「上沼コミュニティ運営協議会」が、平成17年3月1日より「上沼ふれあいセンター」の指定管理団体となった。現在では住民による自主的な地域活動が盛んに進められており、各行政区でも様々な地域づくりに取り組んでいる。

かつては自然豊かな農村地帯にあって住民のほとんどが農業（または関連した生業）に従事していた上沼地域は、仕事と暮らしが密接につながり合った共同体として地域行事や課題解決にあっていたが、1次産業離れ、核家族化などの生活環境の変化に伴い地域共同体の活動は、個人の暮らしとのつながりが弱くなってきている。

②計画づくり策定の目的

《自らの地域は住民自らの積極的な参加のもとでつくる》

行政や地域内外の団体等の力を活かして協働で地域づくりをするためには、地域が独自性を持って自立していなければ協働は成り立たない。

現存するいろいろな課題解決ができる将来の地域づくりに欠かせない協働4づくり事業のうちの「計画づくり（地域づくり計画）」は地域独自の取り組みであるため、地域の将来設計を地域住民が主体となって推進することが必要となる。

このことから、上沼コミュニティを一定の生活範囲として、共通する問題や課題を明らかにして情報共有を図り、解決するための指針とすることを目的として策定する。

③計画策定の方針と期待する効果

策定方針

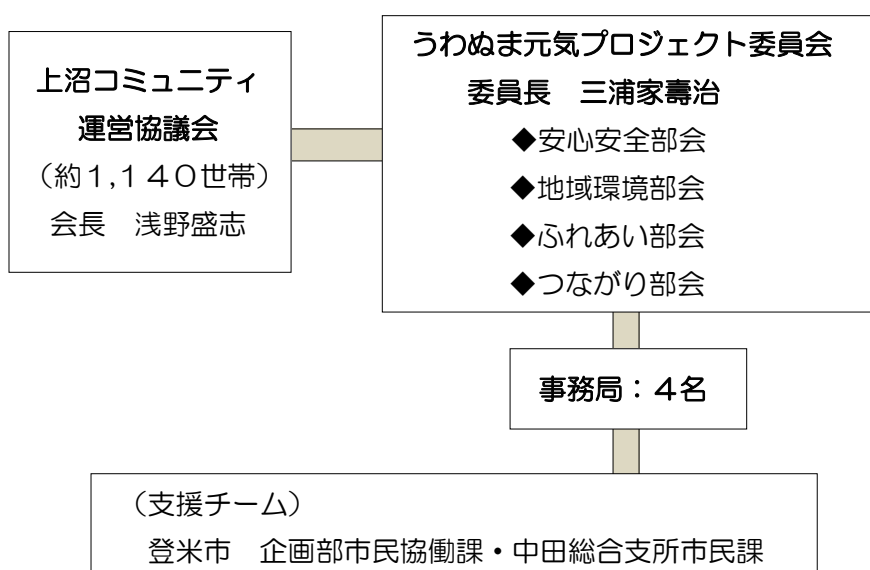
「上沼地区まちづくり計画」は、地域住民の声を多く集め、今後3年、5年と中長期にわたる地域の各種課題を整理し、改善策を検討して、行動計画をつくる。その後一定期間ごとに見直しを図りながら、計画の実現性を高めることとする。

また、作成する際には行政などと連携して、より良い計画策定の為の組織づくりと、仕組みづくりを進める。

期待する効果

- 1) 地域住民の意見を広く集める仕組みづくり
- 2) 住民意見の集約と委員の協議による「地域課題抽出と整理の場」づくり
- 3) 「地域課題」を解決するための「推進組織・人」づくり
- 4) 行動計画の策定
- 5) 住民同士の意思疎通充実化（共有化）

④ まちづくり計画策定体制



4. 行動計画の内容

①趣 旨

この行動計画は、上沼地域の住民が行動するための計画である。

この中では特に「住民の役割」が非常に重要となってくる。

ワークショップ等で出された中からまとめ上げた計画であるので、「上沼住民による上沼住民のための計画」であり、示された事業や作業を行う時には、住民への呼びかけはもとより、参加しやすい方法などが求められる。

その場合、意思疎通ができていないと負担感や義務感が先に立ち、策定した計画が実行できなくなる恐れがある。

そのため、上沼の住民一人一人が今回の行動計画を【自分ごと】として考えることができるまで、リードしていくことがカギとなる。

②行動計画の内容

資料編に一覧表として掲載

5. 今後の取り組み


具体的な推進にあたっては、地域住民の役割と積極的な参加、参画が重要になることから、うわぬま元気プロジェクト委員会を常設委員会として設置し、寄せられた住民意見の受け皿としての役割と行事の検討や意見の調整、情報の受発信などを継続的に検討し、協議する場があることで住民の安心と安全が保障されることになる。

その組織づくりにあっては、地域住民から意欲を持ち、興味を抱く人が参画しやすい環境づくりをすることがコミュニティ運営協議会に与えられた役割であると考ええる。

また、実行にあたっては組織活動だけではなく、小さなグループや個人としても参加しやすい環境をつくり、協力し合う体制づくりをリードすることで実効性を高める必要があると考える。

6. 資料編

①上沼地区まちづくり事業 行動計画一覧表



上沼地区まちづくり事業 計画実行一覧
うわぬま 元気プロジェクト! うわぬま元気プロジェクト委員会 平成31年度～ 5ヶ年計画策定

No	班	項目 (案)	実行年度				具体的内容
			2019年 (計画年度)	2020年	2021年	2022年	
1	安心安全	防災訓練・自主防災組織の充実	○	○	○	○	2年に1度、各種災害訓練実施 訓練に当たらない年は、災害に対する勉強会や講座を開催
2		通学路、危険箇所の整備	○		○		通学路、危険箇所やこれまでに設置した看板等のハトロール点検を実施
3		高齢者の暮らし支援	○	△ 検討			民生委員、区長と一緒にひとり暮らしや高齢者をへ訪問し、実態調査を実施
4	地域環境	上沼たすね歩きマップの活用	○	○	○		観光圏とセットで親子サイクリングを検討 (ハズアニー・サイクリング・オリエンテーリングなどの実施、紙芝居の製作など)
5		観光圏、神社仏閣、遺跡などの地域インフラ活用	○	○	○		
6		病害虫対策	○	○	○	○	行政区へ駆除剤の配布を実施
7		地域環境整備		△ 検討			ポイ捨てゴミ禁止の看板を設置
8	ふれあい	フリーマーケット、あおぞら市	△ 検討				地元で作られた新鮮な野菜や果物などの販売 地産地消
9		パークゴルフ大会 (パークゴルフ場 簡易整備)	○	○	○	○	パークゴルフ大会実施 子供の参加も促す
10	つながり	種々の講座の充実	△ 検討				各種サークルの支援をする リーダーを育て地域へ還元する
11		学校等との連携	○	○	○	○	コミュニティ体曹、コミュニティまつりなどへの参加 (小・中・高校生のイベントの参加、コミュニティスクール)
12		馬舞太鼓小道具作り	○	○	○	○	お祭製作、馬かぶとの修正・改良を実施
13		上沼音頭の復活、盆踊り大会の復活	○	○	○	○	音頭作り、振付 (2019年)、盆踊り運動 (2020年)、盆踊り大会開催 (2021年) 異世代交流の促進・子どもたちの地域参加を促すために音頭所・参加の場を作る・遊び場作り
14		子どもたちの居場所づくり	○	○	○	○	
15	歌声喫茶の集い	△ 検討				楽器に合わせ、懐かしい音楽に熱れながら、地域住民が集まれる機会を作る	
16	支援	地域づくり活動支援	○	○	○	○	自治組織等活動奨励金の交付
17		地域情報の発信	○	○	○	○	コミュニティ事業・地域づくり事業などの情報発信 (ふれあいセンターだより・SNS活用)

※ 上記のほか、『上沼コミュニティまつり』『上沼コミュニティ体育祭』などは、既存事業として例年実施
 ※ 随時、項目の検討を行っているため、加除・変更等あり

②上沼地域カルテ

(今後、加除・修正を加えながら充実させていきます)

平成 31 年 3 月作成

地域全体について									
地域名	登米市中田町上沼地区(昭和 31 年時点:20.11 km ² ※ 旧中田町史より)								
地域運営組織	上沼コミュニティ運営協議会 事務局:登米市中田町上沼字弥勒寺大下 90 番地 1 上沼ふれあいセンター内(北緯 38.73, 東経 141.25) TEL 0220-34-2002								
地域の構成	行政区数 15 (弥勒寺南、弥勒寺北、金谷、寺山、長根、長崎、冠木、八幡山、本宮、大泉、神ノ木、要害、大柳、新田、籠壇)								
地域の歴史	明治 8 年 10 月 上沼、大泉、弥勒寺の三カ村が合併して上沼村 明治 22 年 4 月 町村制施行により上沼・桜場が合併して上沼村 明治 45 年 4 月 中田沼の干拓が完工 大正 15 年 6 月 上沼村立実業学校開校(昭和 18 年上沼農学校に改称) 昭和 22 年 9 月 カスリン台風で大泉堤防決壊 昭和 24 年 9 月 旧上沼村公民館設置(独立建物なし) 昭和 31 年 4 月 石森町と宝江村、上沼村、浅水村が合併して中田町 昭和 51 年 3 月 大泉機場完成 昭和 52 年 上沼公民館新築 昭和 61 年 7 月 上沼コミュニティ運営協議会設立 平成 15 年 4 月 上沼ふれあいセンター開設 平成 17 年 3 月 上沼ふれあいセンターの指定管理者となる 平成 17 年 4 月 登米市となり、登米市中田町上沼となる 平成 17 年 4 月 登米市立上沼小学校開校(中田町立上沼小、上沼中央小、桜場小の三校が統合)								
年代別人口【総計 3,552 人】・世帯数【1,143 世帯】(平成 31 年 1 月 31 日現在)									
年代	0~4	5~14	15~29	30~44	45~59	60~64	65~79	80~	
人口	90 人	290 人	387 人	571 人	631 人	313 人	785 人	485 人	3,552 人
小計	380 人		1,589 人			1,583 人			
割合	10.7%		44.7%			44.6%			100%
これまでの「地域づくりの取り組み」や主な「地域行事」など ・まちづくり ・自主防災 ・コミュニティ									

地域内の個別状況				
No.	項目	現状	特徴 (良いところ)	課題
1	地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県と岩手県の境に位置する、肥沃な土地柄、稲作、果樹、畜産など農業に加えて地域資源活用製造業等が育つ 歴史的な神社旧跡もあり北上川が南北に流れる農村地域である 行政区ごとのコミュニティ 	<p>多様な産業がある</p> <p>コミュニティ内の交流が盛ん</p> <p>地域が広い</p>	<p>地域によって、生活環境に差がある</p> <p>人口減少が進んでいる</p>
2	主な施設	<ul style="list-style-type: none"> 登米市役所中田総合支所 中田生涯学習センター Satoru Sato Art Museum 中田保育所 上沼小学校 登米総合産業高等学校 J A上沼支店 上沼郵便局 上沼診療所 	<p>生活に必要な資本が整備されている</p>	<p>将来にわたって、メンテナンスの必要性がある</p> <p>現在の生活に生かされていない</p>
3	地域内の自治施設	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇地区集会所 〇〇倉庫 	<p>各地区に集会施設が整備されている</p>	<p>維持管理の長期計画が必要</p>
4	指定避難所 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 上沼小学校 登米総合産業高等学校 中田生涯学習センター 中田老人福祉センター 中田保健福祉会館 中田農村環境改善センター 自主防災用具の確認 (行政区単位に明細リスト) 	<p>(行政区ごとに設置)</p>	<p>近年は洪水などの大災害が無く、緊張感が弱まっている</p>
5	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ運営協議会 上沼ふれあいセンター 		<p>常に時代のニーズを把握し、改善対応の仕組みが必要</p> <p>女性が地域参加しやすい、周辺環境づくりが必要</p>

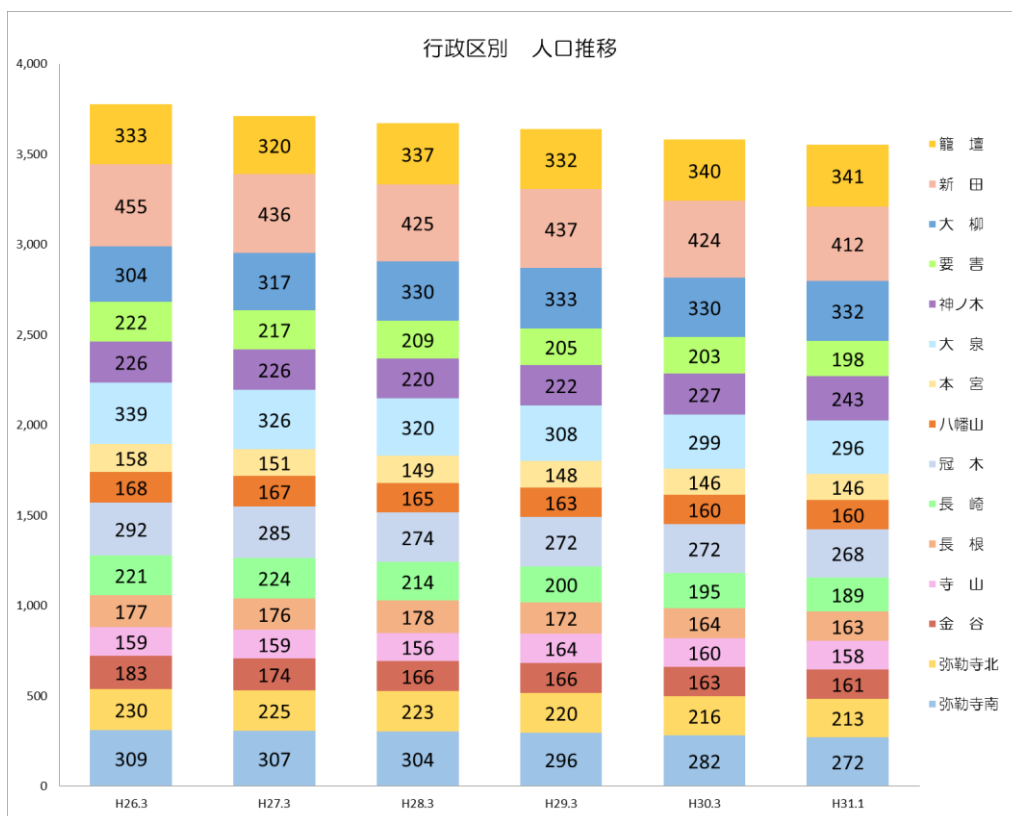
地域内の個別状況				
No.	項目	現 状	特 徴 (良いところ)	課 題
6	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・中田保育所・幼稚園 ・上沼小学校 ・中田中学校 ・登米総合産業高等学校 ・やまがっこ ・上沼鳥舞太鼓 	異世代との交流に同世代と異なった活動体験が得られる	子育てしやすい環境づくり、地域づくりが必要 地域力を活かした学習活動や子育て
7	後継者	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交代ができない ・少子化 		結婚対策（婚活）
8	若者	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的地元志向が強い 	一定の就労場所がある	多様で高度な仕事への対応力を育成する仕組み必要 地域参加しやすい環境づくり 結婚対策
9	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率 32.6% 	元気な人が多い	地域に出て活躍できる場所と役割づくり 孤立化への対応
10	地域環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのインフラは整備されている ・空家の増加 	国道が2本ある	道路、側溝の整備 空家のメンテ・利用
11	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいながらも沼が多く、親しみやすい ・かつて、穀倉地帯の水源地域としての歴史がある ・北上川 	山も、川も、沼も親しみやすく、生物も豊かである	地域の財産として暮らしと一体となった活かし方を検討
12	産業・農業・商業・工業・サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・米、果樹、野菜など多様な作物 ・地元商店は減少 ・地域資源を活用した製造業 ・関連したサービス業 	多様な産業が存在する地域	交流人口の導入
13	健康・スポーツ・施設・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・弥勒尊大祭 ・上沼八幡神社秋季例大祭 		夜間活用（ナイター）できる野外設備が無い

地域内の個別状況				
No.	項目	現 状	特徴 (良いところ)	課 題
14	レクリエーション・娯楽施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・上沼ふれあいセンター ・サイクリングロード ・パークゴルフ場 ・パチンコ店 ・大手口釣り公園 ・登米市中田生涯学習センター 		
15	伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・上沼法印神楽 ・上沼獅子舞 ・本宮神楽 		
16	神社・仏閣等	<ul style="list-style-type: none"> ・長徳山 弥勒寺 ・大白山 長承寺 ・隆池山 大龍寺 ・永壽山 保昌寺 ・上沼八幡神社 ・桜場八幡神社 ・愛宕神社 ・飯綱神社 	神社・仏閣が多くあり、文化財や遺跡に触れることができる	

③ 基礎資料

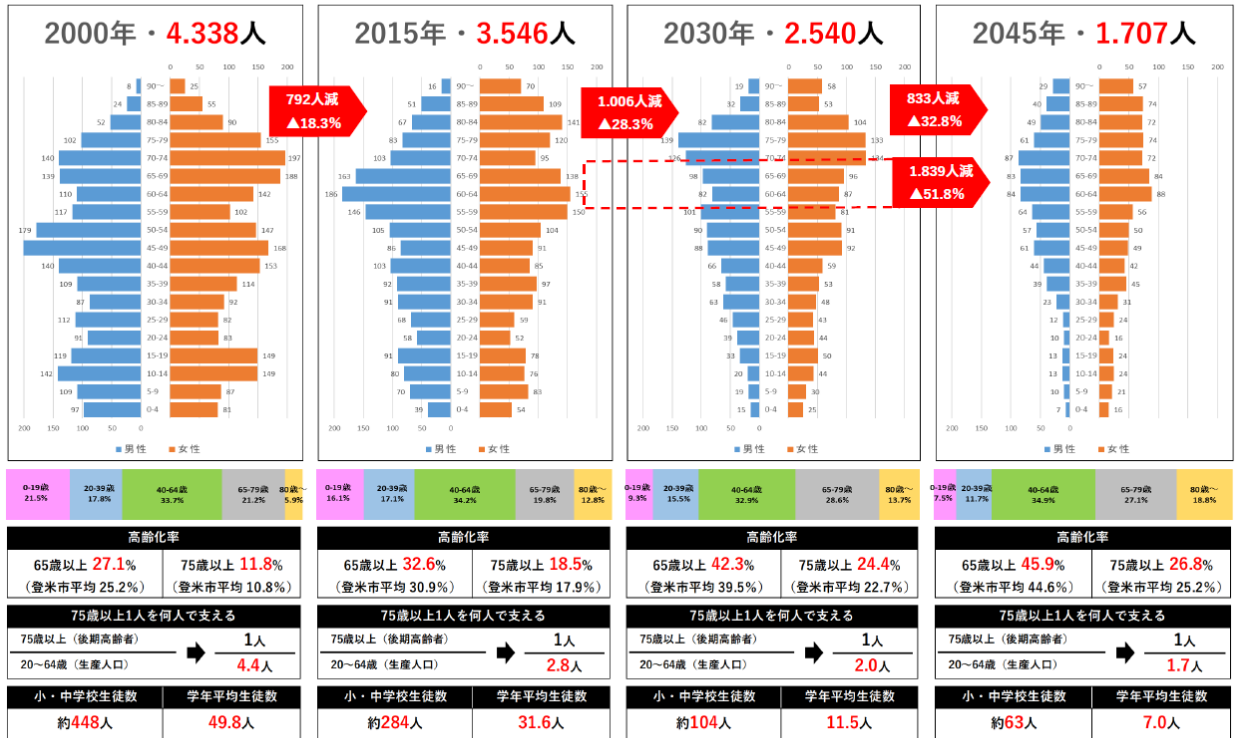
中田町上沼地区 人口推移 (平成26年~平成31年)

行政区	H26.3		H27.3		H28.3		H29.3		H30.3		H31.1	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
弥勒寺南	309	105	307	104	304	103	296	102	282	99	272	94
弥勒寺北	230	67	225	66	223	65	220	64	216	64	213	64
金谷	183	43	174	43	166	43	166	44	163	44	161	44
寺山	159	72	159	73	156	73	164	75	160	76	158	73
長根	177	49	176	49	178	50	172	50	164	48	163	48
長崎	221	63	224	65	214	63	200	61	195	61	189	62
冠木	292	76	285	74	274	74	272	74	272	72	268	71
八幡山	168	47	167	47	165	47	163	46	160	46	160	45
本宮	158	46	151	46	149	45	148	47	146	46	146	46
大泉	339	102	326	101	320	100	308	98	299	97	296	96
神ノ木	226	68	226	67	220	67	222	67	227	70	243	73
要害	222	60	217	60	209	59	205	59	203	59	198	59
大柳	304	86	317	91	330	100	333	103	330	104	332	105
新田	455	149	436	146	425	147	437	152	424	148	412	148
籠壇	333	91	320	89	337	98	332	98	340	108	341	115
計	3,776	1,124	3,710	1,121	3,670	1,134	3,638	1,140	3,581	1,142	3,552	1,143



中田町上沼地区 人口の推移&予測

これまでの15年と、これからの15年、30年は違ってきます！
人口減少は避けられない現実・・・
地域に大きな影響を及ぼすのは人口構成の変化！



【データ】2000年・2015年は国勢調査値 2030年・2045年は IHOE【人と組織と地球のための国際研究所】の推計式による ※過去の上沼地区人口推移平均値を基準

作成：とめ市民活動プラザ

中田町上沼地区 世帯構成の推移とこれから

上沼地区		2000年	2005年	2010年	2015年	これからは？
人口		4,338	4,049	3,787	3,546	今後は更に大幅な減少傾向
総世帯数		1,082	1,071	1,066	1,054	微減傾向
世帯の平均人数		4.0	3.8	3.6	3.4	2035年頃には2人台に
18歳未満	同居世帯数	448	370	329	286	少子化により更に減少傾向
	総世帯数比	41.4%	34.5%	30.9%	27.1%	
三世帯	同居世帯数	516	448	373	303	少子化と核家族化が進み更に減少傾向
	総世帯数比	47.7%	41.8%	35.0%	28.7%	
65歳以上	独り世帯数	61	63	86	91	2035年頃をピークに大幅に増加傾向
	夫婦世帯数	79	66	69	77	
	親子等世帯数	(データ無)	13	12	19	※長寿化により特に女性の独り世帯と高齢者のみの親子世帯が増加傾向
	世帯数計	140	142	167	187	
総世帯数比		12.9%	13.3%	15.7%	17.7%	※約5軒に1件が65歳以上の世帯

【データ】2000年～2015年は国勢調査値 ※他、国立社会保障・人口問題研究所の推計等による

作成：とめ市民活動プラザ

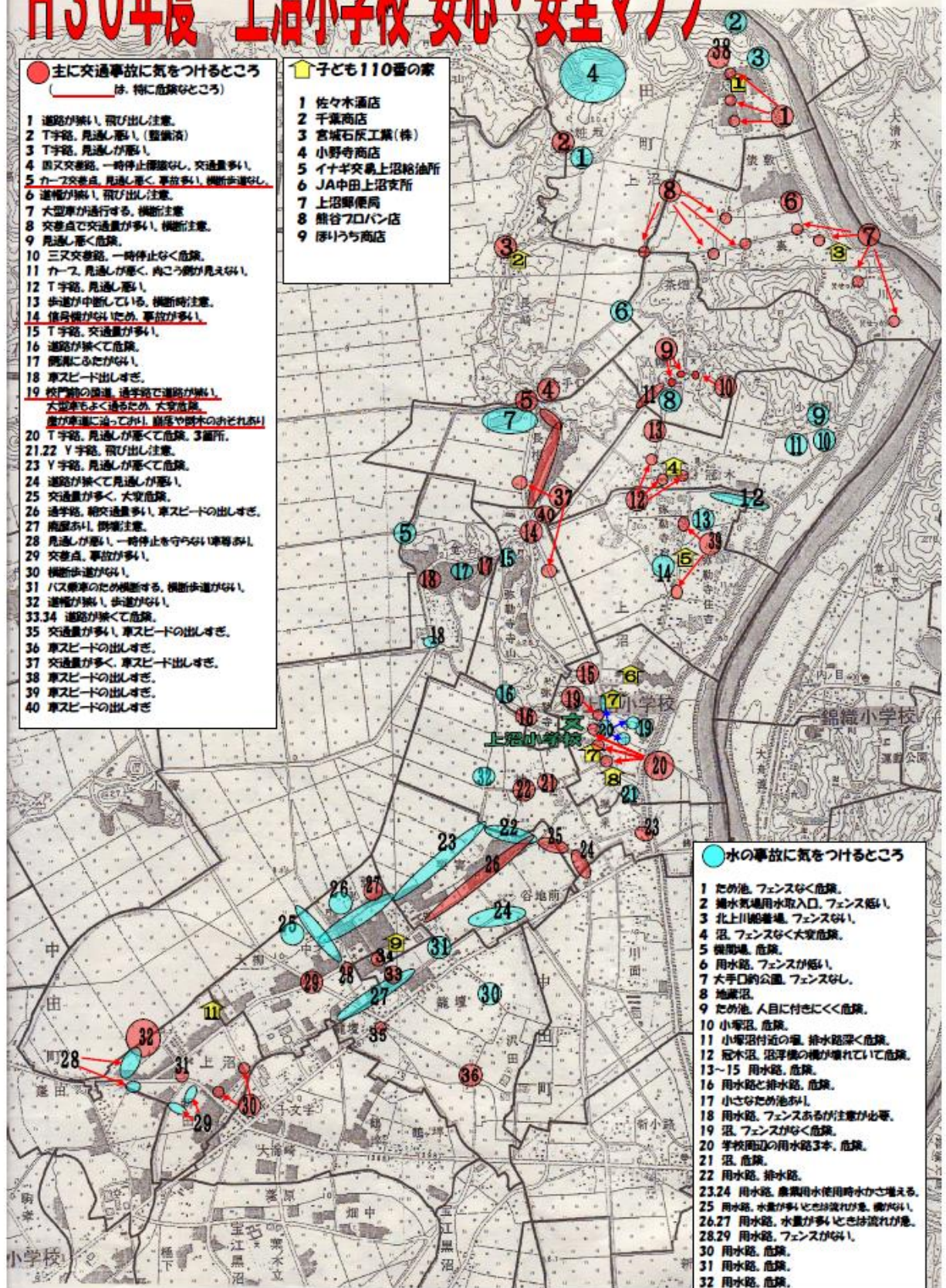
H30年度 上沼小学校 安心・安全マップ

●主に交通事故に気をつけるところ (は、特に危険なところ)

- 1 道路が狭い、飛び出し注意。
- 2 T字路、見通し悪し。(整備済)
- 3 T字路、見通し悪し。
- 4 直交交差点、一時停止不要なし、交通量多い。
- 5 カーブ交差点、見通し悪く、事故多い、横断歩道なし。
- 6 道幅が狭い、飛び出し注意。
- 7 大型車が通行する、横断注意。
- 8 交差点で交通量が多い、横断注意。
- 9 見通し悪く危険。
- 10 三叉交差点、一時停止なく危険。
- 11 カーブ、見通しが悪く、内こう側が見えぬ。
- 12 T字路、見通し悪し。
- 13 歩道が中断している、横断時注意。
- 14 信号機がないため、事故が多い。
- 15 T字路、交通量が多い。
- 16 道路が狭くて危険。
- 17 隣家に面している。
- 18 車スピード出しすぎ。
- 19 校門前の歩道、通学路で道路が狭い、
大坂車もよく通るため、大変危険。
車が歩道に突っ込み、前後や両水のおどろき!
- 20 T字路、見通しが悪くて危険、3箇所。
- 21.22 Y字路、飛び出し注意。
- 23 Y字路、見通しが悪くて危険。
- 24 道路が狭くて見通し悪し。
- 25 交通量が多く、大変危険。
- 26 通学路、朝交通量多い、車スピードの出しすぎ。
- 27 両車あり、横断注意。
- 28 見通し悪し、一時停止を守らない車が多い。
- 29 交差点、事故が多い。
- 30 横断歩道がない。
- 31 バス停のための横断する、横断歩道がない。
- 32 道幅が狭い、歩道がない。
- 33.34 道路が狭くて危険。
- 35 交通量が多い、車スピードの出しすぎ。
- 36 車スピードの出しすぎ。
- 37 交通量が多く、車スピード出しすぎ。
- 38 車スピードの出しすぎ。
- 39 車スピードの出しすぎ。
- 40 車スピードの出しすぎ。

▲子ども110番の家

- 1 佐々木酒店
- 2 千葉商店
- 3 宮城石灰工業(株)
- 4 小野商店
- 5 イナギ交易上沼給油所
- 6 JA中田上沼支所
- 7 上沼郵便局
- 8 熊谷フロンパン店
- 9 ぽけうち商店



●水の事故に気をつけるところ

- 1 ため池、フェンスなく危険。
- 2 排水機場用水取入口、フェンス低い。
- 3 北上川船着場、フェンスなし。
- 4 沼、フェンスなく大変危険。
- 5 機間場、危険。
- 6 用水路、フェンスが低い。
- 7 大手口の公園、フェンスなし。
- 8 地蔵沼。
- 9 ため池、人目に付きにくく危険。
- 10 小塚沼、危険。
- 11 小塚沼付近の堀、排水路深く危険。
- 12 冠水沼、沼浮橋の橋が壊れていて危険。
- 13~15 用水路、危険。
- 16 用水路と排水路、危険。
- 17 小さなため池あり。
- 18 用水路、フェンスがあるが注意が必要。
- 19 沼、フェンスがなく危険。
- 20 学校周辺の用水路3本、危険。
- 21 沼、危険。
- 22 用水路、排水路。
- 23.24 用水路、農業用水使用時水かさ増える。
- 25 用水路、水量が多いとき流れが急、橋がない。
- 26.27 用水路、水量が多いとき流れが急。
- 28.29 用水路、フェンスがない。
- 30 用水路、危険。
- 31 用水路、危険。
- 32 用水路、危険。

上沼地区マップ



上沼洪水ハザードマップ

(河川氾濫による洪水ハザードマップ)

平成二十七年三月

洪水情報等、情報の伝達方法

情報の伝達系統

情報の伝達系統

国・県(河川管理者) → 登米市役所(災害対策本部)

登米市役所(災害対策本部) → 避難情報(避難準備・避難勧告・避難指示)

登米市役所(災害対策本部) → 仙台管区気象台

仙台管区気象台 → 気象情報(気象情報)

仙台管区気象台 → テレビ・ラジオ

国・県(河川管理者) → ホームページ・動画像メール

国・県(河川管理者) → 広報車・防災行政無線

国・県(河川管理者) → 消防車

国・県(河川管理者) → 行政区長

国・県(河川管理者) → 各避難所

市民の皆さん

避難情報の種類

避難準備情報 高齢者など避難行動に時間がかかる方は、早めに避難場所への避難を止めましょう。一般の方は、家財との連絡、非常時持出品の準備、避難行動の準備を始め、テレビやラジオなどの気象情報に十分注意しましょう。

避難勧告 川の水位が増え、災害が起こる可能性が高まっているので、一般の方も早めに避難場所への避難を止めましょう。

避難指示 川の水位が激増したり、堤防が壊れたりするような重大な洪水災害の危険が迫っているため、必ずすぐに避難場所へ避難しましょう。

情報の入手先

ラジオ

FM放送

- HQ!FM: 76.7MHz
- Date FM: 77.1MHz
- NHK-FM: 82.5MHz

AM放送

- NHK第1: 891kHz
- NHK第2: 1089kHz
- TBC東北放送: 1260kHz

災害用伝言ダイヤル「171」(災害時のみ稼働)

※災害時に家族等の避難状況等を録音、再生することができます。

- ①受話器を取り、「171」に電話します。
- ②次にアナウンスが聞こえます。「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4を、ダイヤルしてください。」
- ③これ以降、それぞれの場合に応じて、アナウンスされる手順にそって、録音または再生を行ってください。

※詳しくは、島善なしの「118」か <http://www.ntt-east.co.jp/saiga/voice171/index.html> で確認してください。

凡例

- 洪水が予想される場合の避難所
- 避難方向

1. 避難のために普段から心がけよう!

- ①各家庭で非常時持出品を準備しておきましょう
 - ・非常時持出品は普段から準備して、置き場所を家族で確認しておきましょう。
- ②各家庭で避難所・避難ルートを確認しておきましょう
 - ・地域の避難所を確認しておきましょう。
 - ・避難先は事前に家族と確認しておきましょう。
 - ・避難所への具体的な避難順路を事前に確認しておきましょう。

2. 気象情報から大雨や洪水に備えよう

注意報・警報が発表されたら注意しよう!

テレビ・ラジオ・新聞等で発表される気象情報には、「注意報」や「警報」があります。実際の雨の降り方とどのように関係するのか確認しておきましょう。

また、注意報・警報が発表されたときは、内水による浸水にも十分注意しましょう。

3. 避難の仕方について

- ①早めの避難を心がけ、浸水想定区域外へ避難しましょう!
 - ・広範囲にわたる浸水が想定されます。浸水の恐れが少ない指定避難所をマップで確認して、避難しましょう。
- ②浸水想定区域外へ避難できない場合は…
 - ・周りの浸水が始まったときは、近くの高所へ徒歩で避難しましょう。
 - ・水深が腰まであるときは、無理せず近くの高所へ避難し救援を待ちましょう。

浸水ランクの目安

5.0m以上の区域	2階の軒下まで浸水する程度	5.0m
2.0~5.0m未満の区域	1階の軒下まで浸水する程度	2.0m
1.0~2.0m未満の区域	大人の腰までつかる程度	1.0m
0.5~1.0m未満の区域	大人の膝までつかる程度	0.5m
0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度	0.5m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を使用した。(承認番号 平 26 情使、第 935 号)」



- | | | | |
|---|---|--|---|
| <p>1 上沼中央尋常小学校跡 跡地 通称: 住吉学校 73.3 先</p> <p>明治33年(1900年)上沼村の中央地区である発動寺住吉に上沼中央尋常小学校を建設しました。通称住吉学校といわれ、明治33年から大正15年までの26年間発動寺学区の子どもの教育の任を果しました。</p> | <p>2 奥の細道(芭蕉の道) 発動寺住吉 39-1 先</p> <p>松尾芭蕉が通った道といわれています。石巻〜仙台〜戸倉(巻米)〜沼花を通過したといわれています。随行の芭蕉の旅日記には「[宮新田町] [長根まち]」を通じて「[宮新田] [沼花]」加賀(巻米)として「[一関(現在の平泉)]」に至る記述があります。</p> | <p>3 上沼城跡 八幡山の西、長徳の南に位置する丘陵地 涌池 124 先</p> <p>上沼城または別名観ヶ原(城)ともいわれています。千葉重隆が五郎右衛門(享徳元年1452年没)以後約140年この地を治めました。七代千葉重隆守の時代に、豊臣氏の藩制に取られ、重隆守は重臣伊藤宗徳をたより、城址跡(現在の豊里町)に落ち延びました。城址跡に沼があり上沼と呼んでいたことが地名の由来になったといわれています。</p> | <p>4 上沼小学校跡「金屋敷」 跡地 86 先</p> <p>明治6年大塚、上沼、弥生寺、桜塚に4校を創設し、大塚の校舎を移設して開始しました。8年、大塚、上沼、弥生寺の3校が合併して上沼小学校、上沼学校は伊藤宗徳をたより、城址跡(現在の豊里町)に落ち延びました。城址跡に沼があり上沼と呼んでいたことが地名の由来になったといわれています。</p> |
| <p>5 隆池山 大龍寺 本宮 111 先</p> <p>寛文元年(1661年)奥州山田藩十二世重天寺の僧侶により開創されました。隆池山の東麓の間に大塚のものが残り、寺の東方には稲穂に実を数える豊産とした松林、前方には大きな谷が北の弘法といわれた霊場を創し、さながら龍の窟のようであったといわれています。</p> | <p>6 上沼 八幡神社 八幡山 47 先</p> <p>天保5年(1857年)源義家が安徳貞任、茶任源時のためにこの山に屯所し、戦勝を祈願しました。延暦(824)〜治承年間(1065〜1069)にこの地を源一社を創設しました。この地に杉本が豊家直によりお守りされ、郷村として、市街地化が進んでいます。</p> | <p>7 経塚森 上沼八幡神社 先</p> <p>八幡神社の東北に位置し、7カ所の塚(墓)があることから七ツ塚ともいわれています。治承中安徳貞任が反逆を企てたので、討つため鎮守府軍源頼朝が出現し、ここに屯所を構え、新嘗の祭をこの塚の南に設け、道とともなるに塚をたどっていました。</p> | <p>8 本宮遺跡 新本宮 236-1 先</p> <p>大塚遺跡ともいわれています。1200年から1300年前の住跡と推定されています。寛政2年9月の大塚堤防決壊の際に発見されました。他に木柱10本、大塚11個、塚、大塚、小塚、古子などの子の塚が出土しました。</p> |
| <p>9 大白山 長承寺 大塚門前 18 先</p> <p>本宮は釈迦牟尼弘法に元年(810年)慈覺大師が東奥道徳の折、大塚に築堂を結び千手観世音菩薩坐像や摩訶庵を自ら彫刻されたといわれています。境内に観音堂、妙理堂及び子安堂があります。</p> | <p>10 靴坂の鏡石 大塚靴坂 大塚門前 12 先</p> <p>大塚天神と伊勢山の山間を流れる沢に「鏡石」はありました。現在は基盤整備の際に土盛りがなされた石がみえます。坂は一つづつ平らな石の間に沢の水を掛けると鏡のように輝くことから「鏡石」と呼ばれていました。これにまつわる伝説が多くあります。</p> | <p>11 朝日鏡跡 長崎 63 先</p> <p>州境ともいわれる源頼朝の源氏、一栗入道一房の居城でしたが、北上沼澤により稲作が難しくなり、五道部一家村に移住し、この城を菅右衛門利通に譲ったといわれています。</p> | <p>12 愛宕神社 発動寺山 1-1 先</p> <p>発動寺の四十八坊の一つで、愛宕大権現、龍頭山に祀ったのが始まりとされています。明治2年11月に豊せられた大塚宮により神仏混淆を改め、神社として今日に至っています。</p> |
| <p>13 長徳山 弥勒寺 弥勒寺山 63 先</p> <p>水遣弥勒菩薩坐像が本尊です。建立は白鳥5年(649年)、弘法大師が御詔の折、弥勒の大法を修したと伝えられています。平泉源氏の祈願所とも伝えられており、山内には、平泉山王堂、千手堂、千手地蔵堂、宝珠堂など文化財が所在し、見どころがあります。</p> | <p>14 南殿の桜(飯綱神社) 境前 58 先</p> <p>市指定天然記念物。武田天皇舟遊の折、櫻についでいた桜の枝が着に落ち、この地に落着いたものを里人が植えたといわれています。[飯綱]の地名はこの桜から由来すると伝わっています。</p> | <p>15 大日神社と正中二年の碑 豊里 38 先</p> <p>屋敷の地多から天照大神を勧請し、当地に奉祀しました。後に大日知東となり正中二年(1325年)の碑を建てました。明治9年、大日神社(大塚天神)に改められました。</p> | <p>16 桜場高石 豊里 94 先</p> <p>宮城県豊里総合産業高校の敷地にあり、坂上田村麻呂將軍が巨馬の駒、王子に似た地に建てた標石であるなどといわれています。</p> |
| <p>17 御室の藤 跡 15-2 先</p> <p>桜塚の「三宮(三宮)を祀る御室にあり。昔から土地の人々は「三宮(三宮)を祀る」といわれており、山内には、平泉山王堂、千手堂、千手地蔵堂、宝珠堂など文化財が所在し、見どころがあります。</p> | <p>18 奥州桜城跡(永壽山 保昌寺) 能満 90 先</p> <p>桜城は延元3年(1338年)、里見親太郎が板橋の初代城主として入封以来、天正19年(1591年)、11代城主桜城親隆の没後、10代城主であるまで、253年の長きにわたってその役割を果たし続けた由緒多き寺です。</p> | <p>19 龍馬・鎮山沖之右衛門(桜塚 八幡神社) 跡地 118 先</p> <p>鎮山沖之右衛門は桜塚村要所に生まれ、日本相撲史上初の名人。龍馬は、元禄六年九月五日新館成徳の礼拝の際、氏が争ったもので、二人の強弱が争い、争いが四つに陥った家が描かれています。</p> | <p>20 聖醫機所石川先生誕生之地 龍理 66-1 先</p> <p>幕末・明治の激動の時代に医学で貢献した、石川所生先生の故郷。伊藤玄科に西洋医学を学び、最初に医学士として医師を認めました。仙台の徳川義典に上り、明治4年からは龍理として活躍した西米市商人の一人です。</p> |

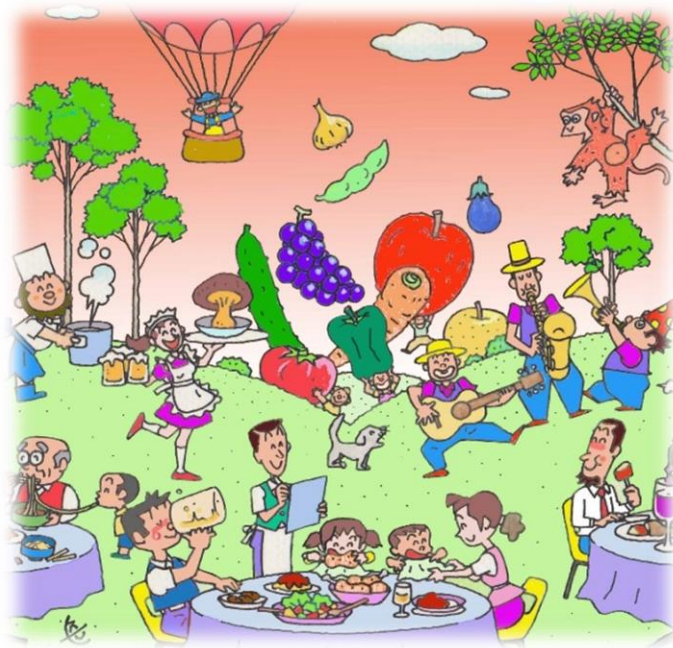
これまでの活動の様子



委員会及び作業部会員名簿

	役職・行政区名	氏名
1	弥勒寺南区長	伊藤 源司
2	弥勒寺北区長	浅野 盛志
3	金谷区長	岩淵 栄
4	寺山区長	三浦家壽治
5	長根区長	佐藤 敏光
6	長崎区長	菅野 成雄
7	冠木区長	小野寺篤朗
8	八幡山区長	千葉 博幸
9	本宮区長	佐々木 隆
10	大泉区長	小野寺賢司
11	神ノ木区長	加藤 正明
12	要害区長	佐藤 一郎
13	大柳区長	堀内 兵治
14	新田区長	畠山 芳郎
15	籠壇区長	菅原玄八郎
16	文化部長	早坂 峰夫
17	環境部長	富士原則義
18	女性部長	熊谷 和枝
19	体育部長	粕谷 亮
20	上沼地区社会体育振興員会長	石川慎太郎

	役職・行政区名	氏名
21	登米市消防団上沼地区団代表	熊谷 裕一
22	上沼小学校区子供育成会長	及川 伸哉
23	上沼小学校校長	伊藤 克宏
24	上沼小学校教頭	岩谷 敏之
25	上沼小学校教務主任	佐々木義武
26	上沼小学校PTA会長	菅原喜久治
27	中田中学校PTA代表（コミ担当）	佐々木 寿
28	弥勒寺南区	熊谷たかよ
29	弥勒寺南区	千葉 信子
30	弥勒寺北区	及川さよ子
31	本宮区	本宮 秀年
32	大泉区	三浦てい子
33	神ノ木区	千葉 久義
34	神ノ木区	皆川 秀策
35	籠壇区	粕谷 義昭
支援	企画部市民協働課	佐々木俊樹
事務局	センター長	三浦 勝則
	事務員	小野寺博子
	事務員	畠山 千春
	集落支援員	千葉さおり



平成30年度 上沼地区まちづくり事業

うわぬま元気プロジェクト事業計画書

平成31年3月

発行：上沼コミュニティ運営協議会

作成：うわぬま元気プロジェクト委員会

事業支援：登米市企画部市民協働課・中田総合支所市民課